

ホルシム社が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資について ～パリ協定に基づく温室効果ガス排出ネット・ゼロへの取組み～

第一フロンティア生命保険株式会社(代表取締役社長:武富 正夫)(以下、「当社」)は、ホルシム社(正式名称:Holcim Ltd)の子会社(正式名称:Holcim US Finance Sarl & Cie SCS)が発行するサステナビリティ・リンク・ボンド(以下、「SLB」)への投資を行いましたのでお知らせいたします。

SLBとは、発行体が事前に設定したサステナビリティ目標の達成状況に応じて、利払い等が変化する可能性のある債券を言います。当社はSLBに投資することで企業の取組み・行動変容を後押しし、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援することを目指します。

当社は一般的なSDGs債投資に加え、世界の企業がSDGsの達成を目指すように促す「アディショナルリティ(追加性)」を持つ投資にも注力しています。本件はこうした当社の投資スタンスに合致するものであり、脱炭素社会の構築を目指すホルシム社の姿勢にも強く共感できるものです。

【債券概要】

発行体	Holcim US Finance Sarl & Cie SCS
保証会社	Holcim Ltd
通貨、発行金額	米ドル建て 10年債:100百万米ドル(約110億円相当)
資金用途	再生可能なセメントなどの低炭素建築資材、炭素回収・利用・貯留技術などの研究・開発による脱炭素社会構築等
サステナビリティ目標	2030年のモニタリング期日にセメント製造1トン当たりのCO2排出量を475kg(2018年576kg基準比-17.5%)に削減する。 達成できない場合は発行体が当社に支払う最後1年分の利払いが0.75%上昇する。

本債券は議決権行使助言会社ISSのESG投資関連ソリューション事業ユニット「ISS ESG」による第三者認証を得たSLBフレームワークに基づいています。本債券はホルシム社として初の私募形式で発行するSLBであり、発行額の全額を当社が購入致しました。

当社は、お客さまからお預かりした約8.7兆円(2021年3月末時点)の資金を運用する機関投資家として、経済的リターンのみならず、持続可能な社会の実現に責任を持った投資を推進していくことが、お客さまに対する受託者責任であると考えています。今後も引き続き、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、SDGs債への投資に積極的に取り組んでまいります。

【リヨン研究開発センター】



写真提供元 Holcim Ltd

【関連するSDGs目標】



【会社概要】

企業名	Holcim Ltd
格付け	Moody's: Baa2 S&P: BBB Fitch: BBB
事業概要	世界最大規模の建築資材メーカー。セメントの製造・販売、セメント製造工程のコンサルティング、エンジニアリングサービスを提供する。

ホルシム社はSBTi¹に基づく温室効果ガス排出削減に取り組む同業界におけるリーダーであり、世界の建設資材メーカーとして初めて、パリ協定に基づく温室効果ガス排出量の中期的な実質ゼロを目指す「Business Ambition for 1.5°C」²に署名しています。

¹ Science Based Targets initiativeの略。パリ協定が求める水準に基づき、企業が設定する温室効果ガス削減目標のイニシアチブ。

² UNGC(国連グローバル・コンパクト)、SBTi、We Mean Businessの3者が主導し、企業に対して気候変動対策を設定するよう要請する共同書簡。

以上